







# 住宅用火災警報器の奏功事例




島原広域消防本部管内で実際に発生した事例を紹介します



	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等
事例 1	平成 22 年 12 月	雲仙市 国見町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	ガスコンロに鍋をかけたままその場を離れたため、煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。近くを通りがかった小学生が鳴動音に気付いて母親等に知らせて発見、すぐに火を止めたため、火災には至らなかった。 
事例 2	平成 23 年 8 月	南島原市 西有家町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの火が天板 や受け皿の油かすに着 火	ガスコンロにやかんをかけたままその場を離れ 2~3 分経過後、住宅用火災警報器が鳴動したため確認すると、天井付近に煙が漂っていたのでガスコンロの火を止めて水をかけて消火した。 
事例 3	平成 23 年 9 月	島原市 今川町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	ガスコンロに鍋をかけていることを忘れ、そのまま外出。隣人が焦げ臭さと住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、119 番通報したものの。鍋の内容物が焦げただけで、火災には至らなかった。 
事例 4	平成 26 年 7 月	南島原市 西有家町	木造 1 階建	ぼや	たばこの火の不始末	たばこの吸殻をティッシュペーパーにくるんでごみ箱に捨てたため、ベッドへと延焼、隣人が煙と住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、窓が開いていたため、消火器と水道ホースにより初期消火を行なった。 
事例 5	平成 26 年 11 月	雲仙市 瑞穂町	木造 1 階建	非火災	IH ヒーターの消し忘れ	IH ヒーターに鍋をかけたままその場を離れたため、煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。鳴動音に気づきスイッチを切ったため火災には至らなかった。 
事例 6	平成 27 年 5 月	南島原市 有家町	コンクリート ブロック造 2 階建	ぼや	たばこの火の不始末	たばこを布団の上で吸った際、何らかの原因で火種が布団に落下した事に気付かず外出、数時間後に発火したものと推定される。近隣者が住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、近隣住民に知らせ、協力して通報及び消火を行った。 

	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等
事例7	平成28年 6月	南島原市 有家町	木造 2階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	ガスコンロに鍋をかけたまま、他の作業をするためにその場を離れ、コンロに鍋をかけているのを忘れたため、煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。煙と住宅用火災警報器の音に気付いた住人が、近隣者に通報を依頼したもの。 なお、過熱防止機能によりコンロの火が自動的に消えたため、火災には至らなかった。
事例8	平成28年 8月	南島原市 加津佐町	木造 2階建	非火災	コンデンサの経年劣化	作業場併用住宅において、作業場の擂潰機(らいかいき)用ブレーカーのコンデンサが経年劣化により発熱、溶融して煙が発生し、住宅部分の階段に設置していた住宅用火災警報器の警報音により気付いたもの。 なお、作業場に煙が滞留していたが、煙の発生元を発見できなかったため消防へ通報したもの。
事例9	平成28年 11月	島原市 浦の川	木造 2階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	カセットガスコンロに鍋を掛けているのを忘れたまま外出したため、鍋から煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。煙と住宅用火災警報器の音に気付いた隣人が発見し、通報したもの。 なお、鍋の内容物が焦げただけで、火災には至らなかった。
事例10	平成29年 5月	南島原市 加津佐町	木造一部 鉄骨造 2階建	部分焼	電気配線の経年劣化による短絡	仏間に設置している住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、仏間を確認すると、仏壇の脇から炎があがり黒煙が充満しているのを発見し、妻と協力して消火を行ったもの。
事例11	平成29年 9月	南島原市 口之津町	鉄筋コンクリート造 3階建	ぼや	ガステーブルの魚焼きグリルの消し忘れ	台所のガステーブルの魚焼きグリルを使用して調理している最中に居眠りし、居間に設置してある住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、台所へ行くと黒煙が充満しているのを発見し、消火を行ったもの。
事例12	平成30年 3月	雲仙市 国見町	木造 2階建	部分焼	炊飯器のコードが短絡し、付近の紙類に着火	庭で作業中、台所から住宅用火災警報器の警報音が鳴動していることに気づき台所に行くと、煙が充満しており床に転がった炊飯器付近から炎が出ていた。騒ぎに気付いた隣人が駆け付け、消火及び通報を行ったもの。



	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等	
事例 13	平成 30 年 7 月	島原市 杉山町	木造 2 階建	全焼	たばこの火の不始末	長屋住宅の居住者が、就寝中に煙の臭いと住宅用火災警報器の鳴動音で目を覚まし、確認の為に屋外へ出ると、長屋住宅の一室から黒煙が出ているのを確認し、通報したものの、黒煙が出ていた部屋の居住者は外出中であった。	
事例 14	平成 31 年 4 月	南島原市 口之津町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	台所で鍋をガスコンロに掛けたままその場を離れたところ、屋外が騒がしくなり、慌てて台所へ戻ると白煙が充満していたため、ガスコンロの火を消したものの、隣人が住宅用火災警報器の警報音に気づき、窓からは白煙が出ていたことから火災と思い通報したもの。なお、鍋の内容物が焦げたのみで、火災には至らなかった。	

★ 設置すべき場所、全国の奏功事例など、詳しくは [こちら](#) をご覧ください ★

